

阿坂まちづくり協議会 地域計画書

I. 阿坂地区の概要

- ◇地域の特色（地理・観光・歴史・文化・行事等）
- ◇阿坂地区の年代別人口の推移
- ◇地域の主な問題・課題



II. 地域の将来像

◆将来像の考え方

III. 地域の目指す姿

- (1) 地域の声に耳を傾け、多くの住民が参加できるまちづくり
(生活環境部会)
- (2) 地域の安全・安心を図り、住みよい環境を造るまちづくり
(防災防犯部会)
- (3) 地域の伝統を継承し、新しいスポーツ文化を創造する
まちづくり (教育文化部会)
- (4) 地域の福祉向上を図り、健康で明るく、人に優しい
まちづくり (健康福祉部会)
- (5) 地域の活動情報を発信して内外ともに広報するまちづくり
(広報部会)

IV. まちづくりの具体計画

2015.05.16 作成

I. 阿坂地区の概要

◇地域特性：（地理・観光歴史・文化・行事等）

地理：松阪市の中山間部に位置し、歴史的な遺跡も多く、白米城を背に豊かな田園地帯が広がり、高台からは遠くは伊勢湾を一望、夜景も綺麗にみることができます。回りは田園に囲まれた自然がいっぱいの農村地域です。特産品としては、松阪赤菜、菜花の栽培やおいしい阿坂米が穫れる地域です。

観光 歴史：阿坂地区には歴史的な神社、仏閣、史跡があります。小阿坂地区では阿射加神社、景德寺、大阿坂地区では阿射加神社、白米城、浄眼寺、美濃田地区では敏太神社、美濃田大仏、正善寺、真楽寺、源陽寺、小野地区では向山古墳・無量寺などがあり、県内はもちろん他県からも多くの方が訪れる歴史的観光地として知られています。

文化：阿坂地区のまちづくり協議会は、小野町、大阿坂町、小阿坂町、美濃田町、の4つの自治会で構成されています。地域での活動は公民館・自治会・各種団体で構成される生活環境部会、防犯防災部会、教育文化部会、健康福祉部会、広報部会、を中心に「伝統文化を継承し新しいスポーツ文化を創造する地域づくり」を掲げ、あらゆる年代層が参加・参画でき共感しあえる行事を実施し、人と人との繋がりの大切さを学び、思いやりの心を育て地域がひとつにまとまり、行動できることを目指して活動しています。

行事：主な地域の行事としては、5月には阿坂運動公園においてソフトボール大会、6月にはCCリング・シャッフルボード大会、4町合同の防災訓練、8月は夏祭り、9月は地区体育祭、10月は敬老会、11月は美化運動、健康ウォーキング、阿坂小学校と協働して文化祭を開催、1月はソフトハレー大会、ふれあいクッキング、2月は食事サービス、9月と3月はゴルフ大会、又、地域の元気応援事業の行事など年間を通じて多種多様な行事を行っています。

◇阿坂地区の年代別人口の推移

	阿坂地区 の人口	年少人口 (14歳以下)	生産年齢人口 (15～64歳)	高齢者人口 (65歳以上)
2000年12月	2,353人	266人 (11.3%)	1,405人 (59.7%)	682人 (29.0%)
2005年12月	2,248人	234人 (10.4%)	1,308人 (58.2%)	706人 (31.4%)
2010年12月	2,117人	214人 (10.1%)	1,194人 (56.4%)	709人 (33.5%)

(2012年10月1日現在 住民基本台帳及び外国人登録原票の登録数の合計数)

◇ 地域の主な問題・課題

生活環境部会

- 阿坂地区は、市内の松阪公園からも見える風景の綺麗なところですが、遠くから見ても芝桜、桜、花など何か主になる景色が見えるように町並みを整える必要があります。阿坂としての町並みが美しい町になるような対策が必要です。
- 阿坂の人口推移を見ると若年層は益々減る傾向になり、高齢者は増える傾向です。子供を増やす方策と人口減少、高齢者への環境整備が必要です。
- 阿坂地区は、豊かな田園風景が広がり、美味しいお米がとれるところですが、近年の米価低迷と、農業従事者の高齢化などで後継者不足が問題となりつつあります。やりがいがある農業を目指せる環境作りが必要です。

防災防犯部会

- 昨今の世界的な異常現象に起因する災害の中で当地区に於いても『高茶屋・鳥戸断層』が通っており、東南海地震が発生の場合、影響を受ける可能性があります。農水用ため池を多数保有する当地区に於いて、池の決壊対策は必須で、その対策と研修を地区住民一体となり、身につけ、有事に即応できる体制作りが必要である。
- 県道丹生寺一志線の地域の交通量は増えてきています。この県道は道が狭く、車が対向する時の交通事故の危険性も高まっています。狭い道で、制限速度を守らないドライバーがいます。その為、事故も多く発生しています。小学校の通学道にもなっていることから特にお年寄りや子供たちが交通事故から身を守るための安全対策を講じる必要があります。
- 子供達の通学道は、夜間になると防犯灯の少ない道路があり、暗いことから、子ども達が犯罪に巻き込まれる可能性があります。又、神社、仏閣、森林も多数あり、昨今の犯罪に遭遇する可能性もあり、危険性のある場所への防犯対策を講じる必要があります。

教育文化部会

- 更なる歴史的文化を継承した事業の取り組みと名所PRの対策を講じる必要があります。
- 歴史ある文化財(神社、仏閣、史跡、古墳等)が多くあるが、研究成果を報告する場が少なく、地域内外の住民に広く知られていない。
このため、研究成果発表の場を作り、広く知らしめる必要がある。
- 現在行っている取組みに加え、地区住民が全員参加できる新たなスポーツ等を取り入れ地域住民全てが参加・交流できる行事を行う必要がある。

健康福祉部会

- 高齢者人口の増加、年少者人口の減少と過疎が進行しつつあるが、高齢者が安心して暮らすことが出来るまちづくりの対策が必要。
- 年少者も減少しているが、地域の宝でもある子供達に対し健康に育つ為の食育を積極的に行う必要がある。
- 子育て世代には、安心して子供を育てられる環境作りが必要。

広報部会

- 広報活動においては、住民協議会の行事の実績PRと予定を掲示しているが、地区の行事など、PRされていないことから地区別のローカルな話題もPRしていく必要がある。

II. 地域の将来像

【将来像の考え方】

阿坂地区は、豊かな田園が広がり美味しい阿坂米がとれる地域ですが、近年の米価の低迷と農業従事者の高齢化に伴い、後継者不足が深刻な問題となりつつあります。

また、若者の地域外への流出に伴う年少人口の減少、高齢者人口の増加が深刻な問題となりつつあります。

このため、この現実を踏まえ、阿坂まちづくり協議会では、従来の施策に加え、農業対策、高齢者福祉対策、子育て支援にも積極的に取り組み、恒久的に安心して暮らせ、子供達の笑い声が絶えない豊かなまちづくりに取り組みます。

III. 地域の目指す姿

(1) 地域の声に耳を傾け、多くの住民が参加できるまちづくり 《生活環境部会》

美しい風景を守る為、芝桜や桜等遠くから見ても街並みを美しくするための活動に取り組みます。

子育て世代には、悩み事を気楽に話せるママサロンの開設、また、高齢者には気楽に立ち寄り茶のみ話が出来る憩いの場を設置します。

農業対策として、米作りのみにとらわれない農業をめざしその環境整備に取り組みます。

(2) 地域の安全・安心を図り、住みよい環境を造るまちづくり 《防災防犯部会》

子どもたちをはじめ地域みんなで協力して犯罪や交通事故から守り、いつ発生してもおかしくない地震の被害や風水害を最小限に止めるために、地域住民が力を合わせて安全安心なまちづくりをします。

(3) 世代を超えた交流と、伝統ある行事・文化財を守り発展させる 《教育文化部会》

各種スポーツ大会を通じ世代を超えた交流を図り、健康的なまちづくりに取り組みます。

伝統ある行事(かんこ踊り、粥ためし等)の保存、継承に取り組みます。

歴史ある文化財(神社、仏閣、史跡等)の研究と情報の発信に取り組みます。

(4) 地域の福祉向上を図り、健康で明るく、人に優しいまちづくり 《健康福祉部会》

高齢者が安心して暮らせる食事サービス、安心して集える場所の確保に加え、子育て世が集える場所の設置、年少者に対する食育にも取り組みます。

また、住民の健康促進の一助として「食育・体育、教育でつくる健康なまち」をスローガンに掲げ、健康づくりに取り組みます。

(5) 地域の活動情報を発信して内外ともに広報するまちづくり 《広報部会》

地域住民にまちづくりの行事、イベントの開催を発信、活動実績の状況や地区別行事もPRして地域住民と情報を共有できるように取り組みます。

IV. まちづくりの具体計画

(1)地域の声に耳を傾け、多くの住民が参加できるまちづくり《生活環境部会》

事業名	事業内容	主体	スパン	予定時期	備考
1. 地域計画の策定	阿坂地区の地域計画を更新維持、新たな計画を検討し策定する。	協働	長期	H27～ (継続)	
2. 地場産業の振興	阿坂地区の特産品の販売促進できる場を提供する	協働	短期	H27～ (継続)	
3. 防犯灯、掲示板の設置	児童・生徒の通学路全域に防犯灯を設置し、子供達の安心・安全を確保します。 イベント等の情報を掲示する掲示板を設置する。	自主	随時	H27～ (継続)	随時
4. 景観形成	美しい景観を作る為、景観植物の植え付けを行います。 (芝桜の管理と植え付けを実施する) 地域美化運動として、三世代美化運動を実施する。	自主	短期	H27～ (継続)	1回/年
5. サロン事業	農家レストランと合わせ、ママサロン、高齢者サロンを開設する。	協働	長期	H27～	初期投資必要
6. 農業対策	米作りのみにこだわらない、農業の在り方を研究し特産品作りに取り組む。	協働	長期	H27～	
7. 環境エコ対策	ゴミの減量化を推進とゴミの堆肥化などを推進を取組ます。	自主	随時	H27～	
8. 研修会	まちづくりへの参加促進のための啓発活動	協働	随時	H27～ (継続)	随時

(2)地域の安全・安心を図り、住みよい環境を造るまちづくり《防災防犯部会》

事業名	事業内容	主体	スパン	予定時期	備考
1. 防災訓練	地区全体、地区別の防災訓練を行い、自己啓発で防災に実践できる人材を育てます。 異常現象に起因する複雑な災害から地域住民を守る対策研修を実施する。	自主	短期	H27～ (継続)	5月～ 7月
2. 防犯パトロール	地域の犯罪を守る事前パトロールを行う。	自主	長期	H27～ (継続)	2回/年
3. 防災・防犯交通マップ作成	危険場所を記入した防犯・防災マップの作成と交通事故の危険箇所を表記した交通マップの作成により安全・安心な町づくりを進めます。	自主	短期	H27～ (継続)	随時

4. 交通事故防止対策	県道丹生寺一志線の安全対策。 道幅拡幅対策、ゾーン30指定による車速抑制対策等を行います。	協働	長期	H33	随時
5. 交通安全教室	地域住民の交通安全対策及び交通ルールの再認識をする為、交通安全教室を開く	協働	短期	H27～	10月

(3)地域の伝統を継承し、新しいスポーツ文化を創造するまちづくり《教育文化部会》

事業名	事業内容	主体	スパン	予定時期	備考
1. スポーツ交流事業	地域住民の交流の場としての各種のスポーツ大会を実施、ニュースポーツを取り入れ、子供から高齢者までもが参加できる事業を行います。	自主	短期	H27～ (継続)	随時
2. 夏祭り	全地域住民の親睦を深め、伝統文化を継承し、暑い夏の一夜を楽しむ事業	自主	短期	H27～ (継続)	8月
3. 地区体育祭	阿坂幼小学校と地域住民と体育祭を通じて交流と親睦を図る事業	自主	短期	H27～ (継続)	9月
4. 健康ウォーキング	地域住民の親睦と健康増進	協働	短期	H27～ (継続)	11月
5. 星空観察	四季を通じて星空が良く見える時期に星空観察を行う。	自主	短期	H27～ (継続)	随時
6. 北ブロックスポーツ大会	各公民館とのスポーツを通じて交流を深め、健康増進に寄与する。	協働	短期	H27～ (継続)	2月
7. いきがい学級、各種講座	各種講座、学級などの事業を検討する。	自主	短期	H27～ (継続)	随時
8. 郷土史研究事業	歴史的な文化財(神社、仏閣、史跡等)の研究を進め、それをまとめ歴史情報を取りまとめます。	自主	長期	H27～ (継続)	随時
9. 歴史文化継承事業	文化的事業を活発化し、その成果をまとめ発表できる場をつくります。又、かんこ踊りなどの事業を継承します。	自主	長期	H27～ (継続)	随時

(4)地域の福祉向上を図り、健康で明るく、人に優しいまちづくり《健康福祉部会》

事業名	事業内容	主体	スパン	予定時期	備考
1 敬老会	地区住民で73歳以上の高齢者の長寿をお祝いして高齢者の親睦を図る事業	自主	短期	H27～ (継続)	11月
2 カラオケ大会	カラオケの参加者は年齢層が高いため、今後は子供から若い人が参加できるように事業を展開していく	自主	短期	H27～ (継続)	11月
3.ふれあいクッキング	夏休みに親子料理教室を開催して親子の親睦を図る事業	自主	短期	H27～ (継続)	1月
4. 文化祭	阿坂幼・小学校の文化祭の一行事として、職業体験できる事業を行う。(陶芸、猿はじき等)	自主	短期	H27～ (継続)	11月
5 食事サービス事業	一人暮らしの高齢者や、体に障害のある方向けに食事の宅配サービスを行う。	自主	短期	H27～ (継続)	2月
6.食育事業	小学校児童とその保護者を対象にした食育事業を実施する。(大根事業等)	自主	短期	H27～ (継続)	随時
7.農家レストラン開設	農業従事者の生きがいとやる気を生み出す、農家レストランを開設する。	自主	長期	H30～	初期投資必要
8宅老会	高齢者見守りの一環として、阿坂地区民生児童委員と社会福祉法人で茶話会を開催する。	協働	短期	H27～	随時
9 認知症サポート養成	阿坂地区でも高齢者が増加してきており、高齢者を見守り活動を行うため、理解者を増やす講座を行う。	協働	短期	H27～ (継続)	随時

(5)地域の活動情報を発信して内外ともに広報するまちづくり《広報部会》

事業名	事業内容	主体	スパン	予定時期	備考
1.広報誌「あざか」の発行	阿坂地区の出来事、行事等を記載した広報紙「あざか」を定期的に発行し、活動内容を全住民に知らしめます。	自主	短期	H27～ (継続)	4回/年
2.各種行事の広報活動	各種行事の開催案内、PR等を積極的に行い、阿坂の情報を地域住民に情報の共有化を行います。各部会との連携を強化します。	自主	短期	H27～ (継続)	随時
3. 広報誌発行作成の研修	広報誌発行に関する研修会に参加して広報のレベルアップを図る	自主	短期	H27～ (継続)	随時